



結婚について 若者に聞いてみました

近年、結婚しない若者が増えていると耳にすることが多いようです。しかし若者の「結婚」に対する意識調査(国立社会保障・人口問題研究所「結婚と出産に関する全国調査」)では87.85%の男女が結婚したいと回答しています。

では、実際のところ若者たちは「結婚」をどのように考えているのでしょうか。市内にお住まいの20代の独身の方にお集まりいただき、結婚をテーマに座談会を開き男女平等世代の結婚観について聞いてみました。



座談会にご参加いただいたみなさん



Tさん
29歳 女性

フリーターをしています。今日は本音をどんどん言っていこうと思います。よろしくお願いします。



Aさん
23歳 女性

社会人4年目です。こういう取材は初めてで、ちゃんと話せるか心配ですが、よろしくお願いします。

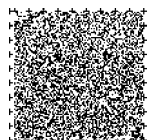


Hさん
24歳 男性

社会人2年目です。自分の言葉が記事になると思うとちょっとぞっとしますが、今日は本音で語ろうと思っています。

市編…市民編集委員

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問合せください。





結婚は大人になったらするべきもの？ 一人前の証？



私はそう思います。結婚は一人前の証、家庭を持てるだけの人になったぞ！といった感じです。



大人になったら結婚できると自分では思っていますが、相手がいてこそこのことなので、必ずしもするべきものとは思いません。



私も「するべき」はちょっと違うかな、したほうがいい…という感じです。結婚をしたら大人になれるというか、いろいろなことができるようになるのでは、と思います。

市編：職場で結婚されている方と独身の方がいると思いますが、違いを感じることはありますか？



ありますね。先輩たちと遊びに行ったときなど、結婚している人はちょっと先を見据えている感じがしますね。例えば、自分が働いて手にしたものを自分のためだけには使わないですよ。それはすごいなと思いますね。



毎月収入があり、人生設計を考えるようになると結婚しようという気持ちに傾いていくのかな。



一定の経済力がないと自分にゴーサインを出せないと思います。社会に出てから特にそう思うようになりましたね。愛情だけで結婚できるのであれば、それはそれで幸せだなと思いますが。

同棲と結婚はどう違うか？



私、同棲していました。同棲って結婚生活の試用期間みたいなものかなって思います。結婚はずっと一緒に生活していくわけで、例えば、朝起きてすぐに歯磨きをするなどの相手の生活習慣を知る意味でも同棲は「あり」だと思います。



私も同棲は「あり」だと思っています。他人同士が一緒に住むわけだから、生活を共にするなかで、習慣の違いなどを許せるかどうかもわかってくると思うし、同棲はしてもいいのかなと思います。



当人同士による結婚の約束も含めて婚約と考えるのですが、その段階であれば、もし、うまくいかなくてもまだ後戻りできますよね。一緒に住むようになって落ち着いたなら「お互いの両親に挨拶に行こうね」とか「入籍しようね」となるものだと思うので、私のなか

では同棲イコール結婚ですね。学生のころありがちな、楽しいから、一緒にいたいから同棲、というのはよくないと思います。



同棲はズルズルしないように期限つきじゃないといけないと思います。婚約してから結婚するまでの間なら期限があつていいと思いますね。同棲するなかで、相手を見て、相手といるときの自分を見て、婚約を解消することはあると思います。同棲は期限つき、結婚は無期限なのかなと思いますね。



同棲というのは自分で自分を守るというか、いつでもやめられるように経済的にも折半、でも結婚は責任もあるし、これからずっと一緒にやっていくんだから二人のお金をひとまとめにして、生活していくものだと思っていました。

市編：特に女性側から見ると同棲は男女が対等なのに対して、結婚になると対等ではなくなるのでしょうか？



まず名字が変わりますね。相手の親と同居しなくても相手の家に入るという捉え方ですよ。

市編：同棲は個人と個人のものだけど、結婚となると家と家のことになり、女性には「嫁」というものがついてまわるような感覚でしょうか。



当事者同士の関係は変わらないかもしれないけど、まわりとの関わりを考えると、同棲と結婚はぜんぜん違いますね。

結婚は人生を豊かにしてくれるものか？

「結婚は墓場」という方もいるようですが？



結婚そのものはぜんぜん墓場だとは思っていません。結婚は豊かになるもの、豊かになってほしいという自分の期待もありますけどね。自分たちが置かれた環境のなかで、自分たちが思う最低限の生活をしつつ楽しむことができれば、それが豊かな生活だと思います。また、結婚はお互いの生活の基準があつていないと絶対できないと思います。自分が当たり前と思っていることがそれぞれあると思いますが、相手にもそれを受け入れてほしいので、生活環境のレベルがある程度近い人とでないと結婚生活は難しいと思います。例えば我が家には、お正月には親戚が集まってわいわい食事を楽しむ習慣があるのですが、そういうことを面倒だと思わない人とか。



私は、結婚は人生を豊かにしてくれるものだと思います。自分の人生は、しっかり勉強して、

しっかり働いて最終的に結婚でゴールだ、というような感覚で生きてきましたが、結婚で自分の人生が終わるわけではなく、そこからまた続くなあと思うようになってきました。子どもが生まれるかもしれないし、いろんな人との出会いがあると思うし、自分を含めてみんな一緒に幸せに豊かになっていく。「絶対幸せになる」という前向きな人生であってほしいと思っています。女子会などでもたいてい結婚の話題になりますが、みんな結婚をしたこともないのに「決して悪いものじゃない」という結論に至っています。「結婚は幸せになるものだ、豊かになるものだ」と刷り込まれていますね。



最近、いどこか結婚式に呼んでくれました。その子は家も近くて、とても身近な存在だったのですが、そのいとこ夫婦を見ていると、とても豊かだと思いました。もちろんけんかもするでしょうし、いろんな問題もあると思いますが、豊かにしてもらおうではなく、二人で豊かにしていこうという雰囲気が伝わってくるんです。結婚は相手の価値観なども影響して視野が広がるし、得るものは多々あると思いますが、結婚が人生を豊かにするというよりも、結婚することで自分たちで豊かにしていこう、と考えたいです。

結婚したら家庭生活を担うのはだれ？



これに関しては、私は相当古い考えを持っていると思います。「親父が働いて母ちゃんは家」みたいな。母ちゃんは家で料理を作って待っていて、親父が帰ってきたら「お帰りなさい、お疲れさま」、親父が「じゃあ、めし食うぞ」というような家庭環境で育ってきましたから。それが私が知る夫婦のかたちなんです。今は男女平等の時代で、同じようにとは言えないし、頼まれれば家事とか興味を持つるものであれば手伝うけれども、できることなら自分の収入で家族を養いたいと思っています。



うちは共働きですが、家事を担っていたのは殆ど母親でした。だから、主婦に対してよく言われる「食べさせてもらっている」は、うちには当てはまらないと内心ずっと思っていました。結婚したら家事

を担うのはだれかと考えると、食事については栄養面の管理もあるので女性が担った方がいいかなと思いますが、他の家事については、私は共働きでも手伝って欲しいと思うので、さりげなくゴミ出しや掃除をしてくれとか、お互いが気持ちよく生活していけるようにしたいなと思います。



男だから洗濯、掃除をしないではなくて、主としてやるのはどちらか？というところですよ。仕事をしている人と結婚したら、「私、今日残業で遅くなるから夕食は用意しといて」とか「洗濯物取り込んどいて」とかだったら「かしこまりました」と言えますよ。



今、すごく考えていたのですが、「主で仕切りたいのは自分なので、相手にはできるときにできることをして欲しい」と思います。自分が主でやるけれど無理なときは、例えば外出先から洗濯物の取り込みを頼んで、帰宅してみたら「余裕があるから畳んじやった」なんて言われたら「ありがとう」って言える。夫が休日には「今日はいいいよ」って食事を作ってくれとか、平日も先に帰った方が作り始める、というのがいいかなと。

女性は結婚したら、子どもを産んだら、仕事を辞める？

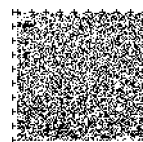


私は本人の意思にまかせます。妻が仕事をすることで、家事の分担がまわってくるならば、それはそれで受け入れるつもりです。自分が先に帰ってご飯を作って待つとか、休日は二人で買い物とか。ただそこに子どもが入ってくるとそうはいかないと思います。子どもにとって親がそばにいたほうがよい時期にどちらもいないというのは、成長によくないと思います。



私は仕事は続けた方がいいと思いますが、バリバリ仕事をするよりは、すこし収入がある程度の仕事にとどめて、子どものそばにいたいと思います。職場の先輩から子育て中は仕事が気分転換になるという話を聞いたりします。でも私には結婚の経験も子育ての経験もまだないから本当にそうなのか？と思いま

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問合せください。





すし、子どものそばにもいてあげたいし、複雑な気持ちです。



私は一般企業に勤めていたときに、「子どもが生まれても辞めちゃダメだ」と思っていました。保育園に預けてでも仕事を続けたい。一度辞めてしまうと、戻りたいときに戻れないから仕事は続けようと思っていました。子どもが生まれたら大きく環境が変わるので、いろんなことを背負って大変になると思いますが、子どもが大きくなって教育費が必要になったときなど、経済的なゆとりがあった方がよいと思うので、できれば仕事を続けたいです。



仕事を続けるかどうかの判断は難しいですね。子どもを育てるにもお金が必要ですから。子どもを産んで、育てるということはとても責任重大です。自分が社会に出て一人前に収入を得られるようになったのは、親の影響がすごくあると思いますし、自分一人で育ったわけではないので、そういう生活基盤を作ってあげるのが親だと思います。例えば、経済力や暖かな家庭の雰囲気や、精神的な支えのような。
市編：女性が仕事と育児の両方を選ぶことの大変さをパートナーが理解して行動してくれる、「お互いに助けあって一緒にやっぺいこうね」というのが理想ですね。



男性の育児休暇などの制度が定着して、お母さんが働いてる間、お父さんが子どもの世話をするっていう流れになってほしいと思いますね。お母さんだけが大変なのはどうかと。よくドラマにある、女性がバリバリ働いて男性が家事をして、というのは自分としては衝撃的でしたが、このごろは、これはこれでいいんだって思います。そういうお父さんの一面を子どもが見ても、カッコいいと思うだろうし。だれが見てもあたりまえの姿に早くなるといいですね。

最後の質問です。将来結婚したいと思いますか？



私は結婚したいですね。もともと結婚願望が強い方なので。理由は、子育てがしたいっていうのもあるし、相手と一緒に暮らして視野をもっと広げ、自分を成長させたいと思います。ずっとこのまま実家にいたら何も成長しないんじゃないかと思うところもあって、結婚したいですね。



将来的には結婚したいです。子どもが好きだから自分の子どもがほしい。でも、今は結婚したくありません。まだ遊びたいっていう気持ちもあるし、社会人としてもまだ半人前ですから。収入も十分でないうちに結婚して、子どももはずみでできちゃったら生活が大変ですね。結婚相手や子どもと生活を共にするには気持ちにも余裕がなければいけないと思います。例えば、休日に子どもを一日保育園に預けて自分は家でゴロゴロしてる、そうでもしないと自分の安定を保てないというのであれば結婚はまだまだできないし、そういう状況に子どもを置いてしまうくらいなら子どももいない。ただ遊びたいことへの理由づけなのかもしれないですが。



これが最後の質問でよかったです。今日、ここに参加して結婚の意欲がわきました。はじめは他人と同じ家でずっと暮らしていくなんてできないと思っていました。でも、問題があれば話し合っ、折り合いをつけて解決していけばいいんだと思えました。相手の家族や自分の家族とも段階を踏んで、見せたり聞いたりしていけばいいのだし、ときには無理と思うこともやってみればいい。結婚することで自分が広がるし、結局結婚も人づきあいだなって思ったら、結婚したくなりました。

市編：本日はありがとうございました。



広告を募集しています！次号は3月発行予定です(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。
【規格】 4.5センチ×9センチ。各号2枠
【広告料】 1枠：15,000円
※申込み用紙は市のホームページからダウンロードできます。内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。
【問合せ】 福生市生活環境部協働推進課 TEL 551-1590

市民編集員 ○田中直美 ○谷川由紀子 ○寺崎敏枝
○濱原幸恵
企画編集 株式会社こども保育環境研究所

あなたとわたし vol.43 2013年12月号

発行：福生市生活環境部 協働推進課
〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話 042-551-1590
<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>